



悪水の泥上げも終盤には各自の持ち分が接近して隣り合うようになる。こうなると作業の終了は近い。今回は異例の短時間で2時間。(悪水という呼び方は「落水」からきているのではないか)

当地区では従来から水路清掃を2段階で実施してきました。最初は農地所有者を中心にして、排水路の清掃を行います。伝統的に「悪水」(あくすい)の泥上げと呼んでいます。そして1週間後に配水側の水路の清掃を実施します。この清掃は小郡地域の一斉清掃の一環で、出た土砂やごみは、行政が処理してくれます。

本年は5月6日に泥上げ、13日に水路清掃となりました。泥上げは一年分堆積した泥の堀上ですから、毎回重労働です。しかも上げた泥は水路畔に積み上げりませんので、堤体の変形が起きます。左右両岸が均等になるように

13日の水路清掃には機械力を導入しました。水路の幅の狭い部分は、今まで通りのバケツによる引き上げですが、広い部分は建設機械を使用して水路からの引き上げを行いました。また森下地区周辺の水路も担当となりましたので、森下地区の住民、福祉施設「ぬくもり」の方々にも協力を頂き、今までにないほどきれいに清掃ができました。



やはり機械力は心強い

年次ごとに積み上げ側が指示されますが、それでも年々かまぼこ状になっていきます。それを修正したの平成28年

5月はクリーンアップシーズン

新たな水路清掃作業に事業所の力

1班の事業所地区の東側を流れる九田川(くでんがわ)は岩屋地区が清掃を受け持ってきました。しかし、住民の高齢化で作業がままならないと、自治会を通じて相談がありました。幾度かの話し合いの結果、水路周辺の除草、伐採は岩屋地区がやるけれど、水路の泥上げは八方原地区でやるしかないとの結論になりました。自治会では事業所のお力を借りるしかないなど、お願いをしたところ山口金属曲板工業、岩多屋、三共ピアノ運送、山陽鋼機建設、ナカテック各事業所さまから16名の方がご参加くださいました。ありがとうございました。



掘り上げた土砂を一輪車で運搬 (5月10日)

新たな体制構想への取り組み

5月26日、八方原の環境を守る会の総会が終わりまりました。今回も前年の活動報告と収支報告、そして本年度の活動計画と予算案が承認されました。除草管理については、議論が行われました。従来、農地と県道が接する部分の法面については、営農組合が4つの班に分かれて担当部分を決め、その

班の中でそれぞれの個人の担当を決めていました。その作業について当初から共同作業の日当の支払いをしてきました。しかし、ここ数年この作業について「危険すぎる」「負担が多すぎる」とのご意見が相次いできています。本来、この法面は県の所有地でありこうした共同作業の対象からは外れる

部分です。しかし、鳥獣被害の防止や景観管理の観点からこの作業を認めてもらって来ました。山口県ではこうした県道沿線の除草に關して有償作業の規定があります。その中には作業に当たる場所に、安全な歩道が確保されていることという条件があります。従って、当地区では榎野川側が該当して、農地側は対象ではないということになります。

除外することになります。今後は従来からこの作業を担当してきた営農班と協議しながら具体的な方法を探ることにしますが、基本的には刈り取り方式から薬剤散布による雑草抑制に切り替えることとします。

そこで八方原の環境を守る会としてはこの堤防の除草作業は共同作業から

平成30年度は今の活動計画の最終年なり、平成31年4月からは新たな体制構想に基づいた新計画への取り組みになります。そのために新たな同意の確認作業が始まりますので、よろしくお願ひします。

元気さナンバーワン



所せまし、「あれ！これ」と呼ぶ声が飛び交うテントの中

小郡地域大運動会が好天の下で行われました。全体で21チームの参加と、何年前かに比べると寂しいものになりました。

八方原チームは昨年16位(22チーム中)と頑張りましたが、もう一歩と頑張りましたが、21得点で14位にとどまりました。実際には選手のやりくりが大変だったわけで、良い成績よりはなんとか出場できるようにすることで、精一杯でした。

しかし、お昼ともなればテントの中はお弁当を広げて、大賑わい。その賑やかさは、どこにも負けなかったかも知れません。そういえば、地区の紹介の度に沸き起こる歓声に、司会の女性が驚いていましたからね。

水路清掃で支援に感謝



参加の日鉄住金の人々と記念撮影、枠内はカメラマン

13名のスタッフ参加

山口合同ガスのガス管工事を担当している日鉄住金P&E株式会社は3年続けて当地区の水路清掃を応援してくださいました。

当日は雨天、雨具を着ての作業は楽ではありません。仕事の一環とはいえ休日返上して地域への貢献を申し出ていただいたことに、感謝するほかありません。また、たくさんの飲み物まで提供していただき、恐縮してしまいました。

当地区の關係する工事は今年度内に終わるでしょう。工事が進み都市ガス利用が可能になるのは、もうしばらく時間がかかるようです。